

Title	表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第10号) 編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1978), 24(10): 906-906
Issue Date	1978-10
URL	http://hdl.handle.net/2433/122265
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

泌尿器科紀要

第 24 巻 第 10 号

1978年10月



抗菌剤の膀胱腔内への移行にかんする研究 I 両腎摘除ラットにおける
 各種抗菌剤の血清ならびに膀胱内生理的食塩水中濃度について……………上領 頼啓… 807

抗菌剤の膀胱腔内への移行にかんする研究 II TLC-bioautography
 による抗菌活性代謝産物の検索について……………上領 頼啓… 819

膀胱癌における細胞性免疫能の組織内表現……………山本憲男・ほか… 827

家兔腎および膀胱ミクロソーム膜系 ATPase の特性と脊髄損傷動物に
 おけるその修飾と Robaveron 投与の影響。特にシヨ糖密度勾配
 法による ATPase 活性分布を中心にした解析……………下平正文・ほか… 835

腎血行動態からみた原因不明の1側性腎出血に関する考察……………細川進一・ほか… 849

左下大静脈の1例……………米田勝紀・ほか… 857

非特異性肉芽腫性前立腺炎 (non-specific granulomatous prostatitis) の1例…朴 勺・ほか 863

近畿大学医学部泌尿器科学教室における手術症例について……………栗田 孝・ほか… 869

前立腺癌に対する estramustine phosphate (Estracyt) の効果……………片山 喬・ほか… 879

複雑性尿路感染症に対する PC-904 の使用経験……………奥山明彦・ほか… 889

PC-904 の慢性尿路感染症に対する臨床的検討……………郡健二郎・ほか… 899

CONTENTS

Studies on the Transfer of Antibacterial Agents into the Intravesical Space
 I. Serum and Intravesical Saline Concentrations of Various Antibacterial Agents in Bilaterally Nephrectomized Rats……………Y. Kamiryo 807

Studies on the Transfer of Antibacterial Agents into the Intravesical Space
 II. Investigation of the Active Metabolites by Means of Thin-layer Chromatographic Bioautography……………Y. Kamiryo 819

T-Cell Distribution in the Tissue with Bladder Carcinoma…………… N. Yamamoto et al. 827

Characteristics of ATPase in the Microsomal Membrane of the Rabbit Kidney and Bladder: Change after Spinal Injury and Effect of Robaveron. An Analysis of ATPase Activity Distribution by Means of Sucrose Density Gradient Method……………M. Shimohira et al. 835

Investigation of Unilateral Essential Renal Hematuria Using ^{99m}Tc-DMSA Renal Scintigraphy……………S. Hosokawa et al. 849

Left Inferior Vena Cava: Report of a Case……………Y. Komeda et al. 857

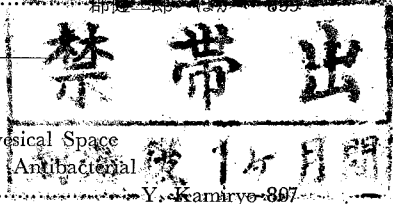
Non-specific Granulomatous Prostatitis: Report of a Case……………K. Pak et al. 863

Clinical Statistics on the Patients Operated at the Department of Urology, Kinki University Hospital……………T. Kurita et al. 869

Therapeutic Effect of Estramustine Phosphate (Estracyt) for Carcinoma of the Prostate……………T. Katayama et al. 879

A Clinical Evaluation of PC-904 in Complicated Urinary Tract Infections……………A. Okuyama et al. 889

Clinical Studies on PC-904 in Patients with Urinary Tract Infections……………K. Kohri et al. 899



〒606 京都市左京区聖護院川原町
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica
Department of Urology
Kyoto University Hospital
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606

編集後記

いつのことだったか、どこでのことだったか、全く記憶にない。しかしこのことだけは今でもよく憶えている。亡くなった原田彰教授が、教授になりたての仁平寛巳氏をつかまえて、「君が今までやってきた仕事は、君自身がやったのではなくて、京都大学がやったものだ。これからやる仕事は君の本当の仕事だから、見ているヨ」という意味のことを言われているのを聞いたことがある。

山口大学に長くいて、いま京都大学にきてみると、この言葉のもつ意味が実感として改めて理解できる。山口大学と京都大学の2つしか知らないが、これは京都大学に限らず旧帝国大学といわゆる地方大学の間には、同じ大学、同じ医学部と言いつつ大きな差があるに違いない。それは長い歴史のなかで蓄えられてきた信用、知識、人材などによるのはもちろんであるが、一皮相的かも知れないが—それよりもっと人為的なもの、たとえば財政的な裏付けなどによるところが大きいのではないだろうか？ そこに働く人々の努力、素質には大きな差はないと思う。

試験に合格したのだと言ってしまうまでもだが、大きな大学で学び、働くものは、悪い条件のなかで努力しているものがあることを考えあわせて欲しい。そうすればより多くの義務を負うていることが理解できると思う。

編集委員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 畜 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購読要項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第10号	1978年10月25日 印刷	1978年10月31日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤 二		定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
